

平成28年度小グループ自主的取組支援事業実績報告

No.	代表者名	補助対象事業名	企画提案事業名	事業報告
1	甲府中央料飲組合 山村 桂	情報発信事業	甲府中央料飲組合パンフレット作成 及び組合ホームページの開設事業	<p>甲府中央料飲組合の安心・安全な店舗紹介と、旅行者やビジネスマンに食べ歩きをしてもらえるよう、各店舗の場所・概要・店内の様子や自慢の一品等の写真を載せたパンフレット8,000部の作成と、パンフレットと連動したスマートフォンで閲覧できるホームページを開設した。パンフレットは当初3,000部作製で取り掛かったが、イベント等での配布を希望する声があったため、5,000部を急遽追加で印刷した。追加の費用については、甲府中央料飲組合の組合員で負担し作成した。</p> <p>パンフレットの配布は、甲府市観光協会へ2,000部、甲府市ホテル旅館協同組合へ1,000部、当組合員へ1,000部を配布した。</p> <p>ホームページは、パンフレットにあるQRコードを携帯等で読み込むことで、各店舗のホームページへリンクができたり、食べログやグーグルマップなどにもリンクできるようになっている。ホームページは利用者のニーズを聞きながら、定期的にリニューアルを行っており、今後さらに組合への加入店舗を増やしたり、加盟店同士の繋がりを強めたり、組合全体で売上げ・集客増加を図っていきたいと考える。</p>
2	マンガ・アニメ プロジェクト 推進グループ 越石 寛	情報発信事業	マンガ・アニメと幕絵を活用した 甲府中心商店街活性化事業	<p>江戸時代、甲府の柳町・八日町・連雀町・魚町・緑町付近は商業が栄え、商家では道祖神祭りの際に各店舗の軒先に「幕絵」という大きな飾り幕を飾る風習があり、豪華さを競っていたそうだが、豪華な幕絵を飾る道祖神祭りはその贅沢さなどから明治5(1872)年に廃止された。しかし、この幕絵文化は、甲府が商人の街として栄えた象徴であり、甲府の街を再生していくキーワードではないかと考えた。</p> <p>そこで、今回は県内で活躍するイセタマミコ氏・PAPA氏によるオリジナルデザインのマンガ幕絵と、ゆるキャラのイラストや写真を用いたモザイクアート調の幕絵、計3枚を作成及び、2月1日～3月13日までオリオン・スクエアへの展示を行った。</p> <p>また、甲府道祖神・幕絵祭り復活に向けた専用サイトのホームページ「MAKUE.jp」(http://makue.jp/)を1月14日に開設を行い、現在ページのビュー数は360件等、多くの方に閲覧していただいているので、今後も甲府道祖神・幕絵の詳細な内容や歴史などを周知し、甲府道祖神・幕絵の復活を図りつつ、甲府市の中心市街地活性化を図っていきたいと考える。</p>
3	甲府銀座仲町 春桜会 山村 桂	景観形成事業	裏春日通り外路地たれ幕 設置事業	<p>裏春日通りに位置する甲府銀座仲町春桜会、通称裏春日通りは、古くから飲食店が多く存在するが、現在では昔のような賑わいも薄れ、暗いイメージとなっている。そこで春桜会では、県内外から来客する老若男女の方々に、安心して歩いてもらえる明るい町並みを目指し、また、かつてのような賑わいを復活させるため、再生プロジェクトをいくつか考え、今回はその内の1つの事業として、裏春日通りにある街路灯24基に、春夏秋冬に合わせたたれ幕を作製し設置した。</p> <p>春(3～5月)は新緑のイメージで緑、夏(6～8月)は空のイメージで青、秋(9月～11月)は落ち着いたイメージで紫、冬(12月～2月)は明るく賑やかなイメージで赤といった4パターンで、季節による変化で来街者の通りへのイメージを明るいイメージへ変えていく。今後、少しずつでも来街者が増え、それに伴い、各店舗の来店数と売上げ向上に繋がっていきたいと考える。現状4店舗へ聞き取りした結果、2店舗は5%程度、事業前より来店者数が増加した。</p> <p>銀座仲町春桜会では、今後、会員の増加にも力を入れていき、再生プロジェクトを実行していきたいと考えている。</p>
4	まちゼミ実施 グループ 鈴木 重正	商店街魅力創出 事業	甲府市中心市街地商店街での まちゼミ実施事業	<p>愛知県岡崎市を最初に、現在、全国240箇所以上の地域で実施されているまちゼミは、お客様・お店・商店街にとって「三方よし」のまちおこしの取り組みであり、参加した多くの個店で新規顧客の獲得や売上げ増加に繋がっている。今回、甲府市中心市街地商店街でも、この手法を初めて活用した事業を行った。</p> <p>参加店舗は21店舗あり、まちゼミは2月1日～28日の1ヶ月間で25講座を開催した。1講座が少人数制でありながらも、全体として217人もの方が参加し、7割近くが女性の主婦層だった。また、受講後のアンケートでは、「大満足・満足」と全体で7割近くの方が評価された。また、お店側でも、「お店のPRに繋がった・参加者が受講後に再来店してくれた」などの意見が多数あった。</p> <p>今後は継続して、商店街の店主が中心となって開催できるよう、運用を考えていき、少しずつでも商店街活性へつなげていきたいと考える。</p>